

令和3年度の決算を審査

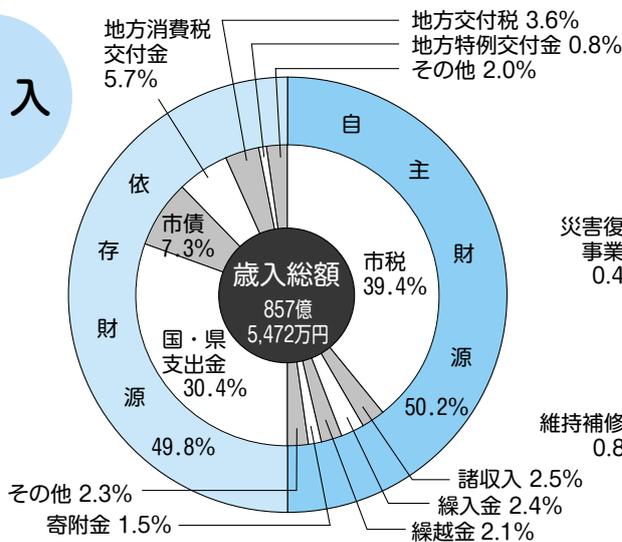
一般会計・特別会計・企業会計の

◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

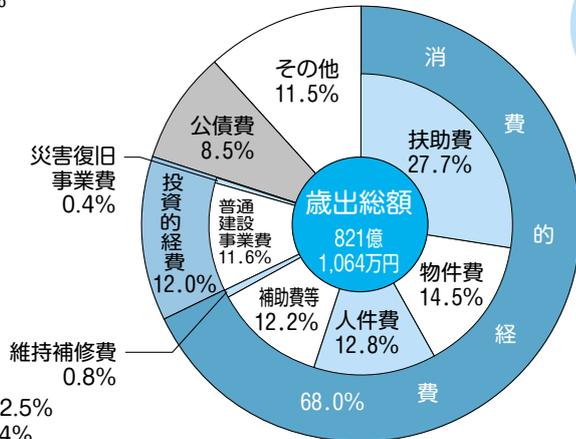
一般会計決算

	歳入	歳出	差引額
令和3年度決算額	857億5,472万円	821億1,064万円	36億4,408万円
令和2年度決算額	971億9,108万円	953億9,456万円	17億9,652万円
比較増減額	△114億3,636万円	△132億8,391万円	
増減率	△11.8%	△13.9%	

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 ふるさと応援基金寄附金の実績と寄附増加のための取組は。

答 令和3年度の寄附件数は9万5,420件、寄附額は11億7,586万2,100円で、令和2年度と比べ、寄附件数は6万915件の増、寄附額は6億8,448万9,100円の増となった。大幅な増加につながった取組としては、本市のふるさと納税を受け付けるサイトの登録数をさらに追加し、本市の露出度を高めたほか、返礼品の生産工程や生産者の思いなどをヒアリングし、寄附者に伝わりやすい写真や紹介文の掲載に努めた。

問 農業の後継者不足や荒廃農地の解消に向けた取組は。

答 新たな担い手確保の取組

として、次世代を担う農業者を志す者に対して、就農前後の資金不足を支援する農業次世代人材投資資金を交付したほか、担い手育成の取組として担い手への経営改善や経営能力向上のための支援を実施した。また、意欲ある担い手が荒廃農地を利用して規模を拡大する際の農地再生活動を支援する荒廃農地再生・集積促進事業を県と連携して実施した。

問 水産業の1次産品販路拡大のための取組は。

答 販路拡大やブランド化推進の取組として、農水産物の生産者など、関係者間の連携を図るセミナーを開催したほか、消費地及び販売先に対するニーズの把握等の調査など

を実施した。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付事業の実績は。

答 営業時間短縮要請に応じた飲食店1,132店舗に対し協力金を交付した。これは経済センサスに基づく飲食店数1,142店舗に対して99.2%の交付率となり、コロナ禍においても事業の継続が可能となる支援につながったものと認識している。

問 静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業の取組内容は。

答 区画整理後の地権者の土地の位置や形状等を示した換地設計の決定に向けた事業計画の変更を行うとともに、評価員や土地区画整理審議会の

意見を踏まえ、土地評価基準・換地設計基準・換地設計原案を策定したほか、三芳町地内における埋蔵文化財発掘調査などを実施した。また、区画整理通信を発行し、地権者全員に情報提供を行った。

問 学校給食会計を公会計化したことによる効果は。

答 学校給食会計の公会計化により、教職員の業務負担が軽減されるとともに、公会計化に併せて学校徴収金の集金を口座振替に変更することで、学校での現金の取扱いがなくなり、児童生徒が現金を持参する必要もなくなった。これらにより、教職員が児童生徒に向き合う時間を確保でき、学校教育の質の向上に寄与したものと認識している。